

リクエストテーマへの対応率（件数）アップが目標

お蔭様で弊誌も本年最終号をお届けする運びとなりました。本年1月号より弊誌編集部はソウル支社から本社CMEO（Chemicals, Materials, Electronics, Optics）事業部へ異動となり、これまでのスタンスを維持しながらも可能な限り皆様のお役に立てる誌面作りを目指してきたつもりです。

その小さな1歩は、pdf閲覧サービス時に皆様にお手間を取らせてしまっているアンケートです。7月号からこの仕組みをスタートさせましたが、最初はpdf閲覧サービスを利用されている方の実数を目の当たりにし、その多さに驚きました。そして、アンケートの最終間にある「取り上げて欲しいテーマ」として多岐に渡る内容にどう対処すべきかということを考えることが多くなっていきました。

皆様のリクエスト内容を大別すると以下のようになると思っています。

- A. 弊誌に最適なテーマ
- B. 弊社自主企画レポートとして取り上げている、または取り上げるべきテーマ
- C. あまりにニッチ過ぎて読者アンケートで「興味がない」票が多く集まりそうなテーマ
- D. 弊社リソースなどからアプローチが難しそうなテーマ

本来全てに目を向けるべきなのですが、そうなっていないのが実状です。Bの場合は当該レポートからの編集原稿を作るなども含め、基本的にA～Cは弊誌の対象テーマだと思っています。AとBは当然なのですが、Cについてもバッサリ切り取るのではなくその市場のポテンシャルを含め取り上げることも大事だと考えています（実際、Cのようなテーマの場合、後のバックナンバーリクエストが多かったりします）。

弊誌は毎月6～8個位の市場を切り取ってレポートするというスタンスですが、テーマによっては関連性含めひと月内で完結しないものも多くあり、そのような場合は数号に亘ることになります。また、前年から既に決めていた内容などもあり、今年の8月号以降に皆様のリクエストテーマに応えられたのは毎月1～2テーマ位にとどまっています。

このため、当面はこのリクエストテーマへの対応率（件数）を増やすことを目標にしたいと思っております。ストレートにその票数の多さで自動的に決めれば楽なのですが、前述内容も含めて諸般の事情で都度頭を悩ませながら進んでおります。

皆様には本年も大変お世話になり、ありがとうございます。今後とも弊誌をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

編集 A